

その声に耳を傾けよう。

株式会社 新潟アパタイト
代表取締役 小林 勇一



1. みんなが能力を生かして働ける場を

弊社は1988年に創業し、2014年に株式会社に組織変更しました。自動車や航空機、電気・電子機器、医療機器メーカーの3次下請けを担っています。全従業員92名のうち22名が60歳以上、そして全体の8割、女性が活躍しています。

ある日、65歳定年を間近にした従業員が、「私、辞めないといけんかね?」と相談されたことをきっかけに2014年に定年70歳を規定にしました。一定条件のもと年齢に上限無く再雇用し、現在の最高年齢は75歳です。設立当初から働いてきた社員や、リーマンショックで仕事が消失し会社が苦境に直面した時も頑張ってくれた社員に報いたいという思いがありました。

長年かけて培われた個人の感覚は力強い戦力です。しかし年齢を重ねると視力低下や身体的ハンデを負うようになります。その対策として検査方法を工夫し、機器や治具を開発し作業環境を整えました。

例えば端子の検査では、顕微鏡で細かな傷や歪みを見つけますが、高齢になると目の焦点を合わせるのに苦労します。そこで、端子を一列に並べ次々に見ていく方法を考案し、整列用の

ボードを作りました。これで焦点を常に一定に保てるため、ピント合わせの時間もかからず目の疲労も軽減できます。これは高齢者のための対策ですが、それだけではなくすべての作業員の負担を軽くし、効率も向上させます。また、端子を並べるのは、知的障がいの従業員に任せることもできました。

それでも体がついていかない場合は、検査担当から事務や配送へと、できる仕事を社内で探すようにしています。勤務体制については、女性従業員が多いため、以前から勤務時間・勤務日に柔軟性を持たせていましたが、それを高齢社員向けに制度化し、短時間・短日勤務制度を施行しています。

年齢・性別や障がいなどで区別せず、働きたい人が自分のスキルを最大限に働きたいだけ働ける環境づくりをしています。



いきいきと働く(株)新潟アパタイトのみなさん

2. 支え合うから気づく。

それが良い仕事につながる

従業員は、20代から70代と年齢層の幅が広い
ため日頃からコミュニケーションを大切に
しています。全従業員が回し読みできる個人別
ノートには、意見や希望、気持ちや単なるつぶ
やきを書いています。

また毎週開かれる委員会では、管理職と各世
代の3名と私で意見交換をしています。メン
バーは2か月ごとに交代し、すべての従業員か
ら様々な意見が聞けます。例えば、梱包作業
の手元が暗い、清掃箇所の変更やローテーショ
ンの希望、冬場の通勤時間の見直し。逆にグル
ープリーダーからのお願いや伝達事項を伝える場
にもなっています。

対応が必要な要望は私自身が体験し、改善策
を練っています。指サックが取れやすいと声
が出た時は、物品のサンプルで実際に試してもら
い入れ替えを行ったり、従業員の身長により作
業のしやすさが異なる作業台の場合は高さの変
えられる椅子を用意しました。

不良ゼロ、ノークレームは、100日達成ごと
にお弁当やお菓子を提供しています。コロナ過
で以前のような大人数での懇親会は難しくな
り、じゃあ代わりに何をしようかとみんなの意
見を聞き社内でケータリングを取りました。出
来たての料理をみんなでいただく、新しい試
みで喜んでもらえました。

お互いが思いやりや向上心を持ち、ストレス
なく仕事ができる環境を作ることで、品質の高
い製品をお客さまにお届けすることができま
す。

日頃からみんなと世間話や何気ない会話をす
ることで私が気づかないアイデアや要望が飛び



委員会の一コマ

交い、会社への貢献意識の向上にもつながって
います。

障がい者就労支援にも積極的に取り組んでお
り、これまで2015年、柏崎市に就労継続支援
A型事業所「With You」と2019年に就労支
援B型事業所「Be With You」を開所いた
しました。

今年の10月には上越市に、その後は糸魚川
市に就労継続支援事業所を開所する予定です。

健常者も障がい者も、女性も高齢者も共に働
ける企業を目指します。

会社概要

設 立	平成7年8月1日
資 本 金	6,000千円
事 業 内 容	電子機器部品製造・車載電子機器部品 製造・パネセッチング・部品製造・梱 包作業
従業員人数	93名(パート含む)
代表取締役	小林 勇一